

令和6年度 林野関係予算の概要

令和5年12月

| 区 分 | 5年度 予算額 | 6年度 概算決定額 | 5年度 補正追加額 |
|----------|------------|--------------|--------------|
| | 億円 | 億円 | 億円 |
| 公共事業費 | 1,979 | 1,982 | 1,077 |
| (対前年度比) | | 100.1% | |
| 一般公共事業費 | 1,875 | 1,877 | 745 |
| (対前年度比) | | 100.1% | |
| 治山事業費 | 623 | 624 | 268 |
| (対前年度比) | | 100.1% | |
| 森林整備事業費 | 1,252 | 1,254 | 477 |
| (対前年度比) | | 100.1% | |
| 災害復旧等事業費 | 104 | 105 | 332 |
| (対前年度比) | | 100.6% | |
| 非公共事業費 | 1,077 | 1,021 | 323 |
| (対前年度比) | | 94.8% | |
| 合 計 | 3,057 | 3,003 | 1,401 |
| (対前年度比) | | 98.2% | |

(注)1 林野公共関係予算の総合計は2,682億円

- 林野公共事業(令和6年度当初): 1,877億円
- 林野公共事業(令和5年度補正): 745億円
- 路網の整備・機能強化対策(非公共(令和6年度当初・令和5年度補正)): 60億円

2 上記のほか、農山漁村地域整備交付金に、林野関係事業を措置している。

3 金額は、関係ベース。

4 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

令和6年度林野関係予算の重点事項

6年度当初予算 3,003億円

5年度補正予算 1,401億円

(※) 各事項の下段（ ）内は、令和5年度当初予算額

I 食料の安定供給の確保

1 生産資材の確保・安定供給

| | 【6年度当初】 | 【5年度補正】 |
|--|---------------------------------------|---------|
| ① 燃油・資材の森林由来資源への転換等対策 | (林業・木材産業循環成長対策のうち 木質バイオマス・特用林産物関係) | 20億円 |
| ・燃油・資材の価格高騰に対応するため、きのこの生産施設の省エネ化や生産資材導入を支援するとともに、木質バイオマスの収集・運搬、木質燃料の製造・熱利用に向けた取組等を支援 | 3億円 (4億円) | |

Ⅱ カーボンニュートラルの実現等に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長

| | 【6年度当初】 | 【5年度補正】 |
|---|------------------|---|
| ① 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 | 144億円 (161億円) | (林業・木材産業国際競争力強化総合対策) 458億円 (花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 60億円 |
| ・カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進 | | |
| ア 林業・木材産業循環成長対策 | 64億円 (71億円) | 126億円 |
| ・国産材供給体制の強化と森林資源の循環利用の確立に向け、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再生林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援 | | |
| イ 林業デジタル・イノベーション総合対策 | 4億円 (6億円) | 2億円 |
| ・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する戦略拠点の構築等を支援 | | |
| ウ 建築用木材供給・利用強化対策 | 10億円 (12億円) | 18億円 |
| ・木質耐火部材やJAS構造材の建築物への利用実証・普及、大径材活用に向けた技術開発、JAS製材のサプライチェーンの構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やCLTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証等を支援 | | |

エ 木材需要の創出・輸出力強化対策3億円
(4億円)

4億円

- ・非住宅建築物における木材利用の促進、工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大等を支援

オ 森林・林業担い手育成総合対策47億円
(47億円)

3億円

- ・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生の林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策、森林経営管理制度を担う技術者の能力向上等の取組を支援

カ 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策2億円
(2億円)

- ・伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」の実現に向け、新たな技術の導入による経営モデルの構築等を支援

キ 林業・木材産業金融対策4億円
(6億円)

- ・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

ク 森林・山村地域振興対策10億円
(11億円)

- ・地域の活動組織や都市部との連携による里山林の保全管理や利用、国民参加の植樹の推進、新たな森林コンテンツの制作・普及に向けた取組、森林由来Jークレジット創出・活用に向けた取組等を推進

【6年度当初】

【5年度補正】

② 花粉症解決に向けた緊急総合対策<一部公共>

60億円

(林業・木材産業国際競争力強化総合対策)
458億円の内数

- ・10年後に花粉発生源となるスギ人工林を2割減少させることを目指し、花粉が多いシーズンでも現在の平年並みの花粉量までとなるよう、花粉症対策初期集中対応パッケージに掲げられた、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、スギ花粉飛散量の予測・スギ花粉の飛散防止の取組を推進

③ 森林整備事業<公共>

1,254億円

477億円

(1,252億円)

- ・森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けた間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等の推進に加え、花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進

④ 治山事業<公共>

624億円

268億円

(623億円)

- ・豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、流木対策や機能強化対策の充実、流域治水との連携拡大など、国土強靱化に向けた取組等を推進

⑤ 農山漁村地域整備交付金<公共>

770億円

(774億円)

- ・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

Ⅲ 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

(1) 防災・減災、国土強靱化の推進

【6年度当初】

【5年度補正】

① 治山施設の設置等による対策＜公共＞

268億円

- ・豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、山地災害危険地区や氾濫した河川上流域等において、流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を推進

② 森林整備による対策＜公共＞

172億円

- ・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、道路など重要なインフラ施設周辺や氾濫した河川上流域等での間伐、再造林、幹線となる林道の開設・改良等の対策を推進

(2) 令和5年5月から7月までの豪雨等による災害被害の復旧・復興

① 災害復旧等事業＜公共＞

105億円

332億円

(104億円)

- ・被災した治山施設、林道施設等の速やかな復旧等を実施・支援

参考資料

- 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策・・・・・・・・・・ 1
 - 林業・木材産業循環成長対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - 林業デジタル・イノベーション総合対策・・・・・・・・・・・・ 3
 - 建築用木材供給・利用強化対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 木材需要の創出・輸出力強化対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - 森林・林業担い手育成総合対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策・・・・・・・・・・・・ 7
 - 林業・木材産業金融対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 森林・山村地域振興対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 林業・木材産業国際競争力強化総合対策＜一部公共＞（令和5年度補正）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 林業の担い手の育成・確保（林業従事者等確保緊急支援対策）（令和5年度補正）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 花粉症解決に向けた緊急総合対策＜一部公共＞（令和5年度補正）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 森林整備事業＜公共＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 治山事業＜公共＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

- 農山漁村地域整備交付金＜公共＞ 17
- 治山施設の設置等による防災・減災対策＜公共＞（令和5年度補正） 18
- 森林整備による防災・減災対策＜公共＞（令和5年度補正） 19
- 災害復旧等事業（山林施設）＜公共＞ 20

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【令和6年度予算概算決定額 14,398 (16,143) 百万円】

(令和5年度補正予算額 (林業・木材産業国際競争力強化総合対策) 45,811百万円)

(令和5年度補正予算額 (花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 6,000百万円)

<対策のポイント>

カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加 (35百万m³ [令和4年] → 42百万m³ [令和12年まで])

<事業の全体像>

1. 林業・木材産業循環成長対策

- ・路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐を支援
- ・木材加工流通施設、木造公共建築物の整備を支援
- ・木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備を支援

5. 森林・林業担い手育成総合対策

- ・新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、林業経営体の労働安全対策を支援

2. 林業デジタル・イノベーション総合対策

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技術者の育成、デジタル林業戦略拠点の構築を支援

6. 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

- ・伐採から再生林・保育に至る収支がプラスとなる経営モデルの構築を支援

3. 建築用木材供給・利用強化対策

- ・都市部における建築用木材の利用実証・普及、JAS製材のサプライチェーン構築、製材やCLTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証を支援

7. 林業・木材産業金融対策

- ・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

4. 木材需要の創出・輸出力強化対策

- ・木の効果の見える化や木材製品の輸出促進を支援
- ・「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大を支援

8. 森林・山村地域振興対策

- ・地域住民や地域外関係者による森林の保全管理等を支援

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち
林業・木材産業循環成長対策

【令和6年度予算概算決定額 6,410 (7,132) 百万円】
 (令和5年度補正予算額 (林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部) 12,586百万円)
 (令和5年度補正予算額 (花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 6,000百万円の内数)

<対策のポイント>

路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、エリートツリー等の苗木の安定供給とともに、木材加工流通施設、特用林産振興施設の整備等の川上から川下までの取組を総合的に支援します。

<事業目標>

国産材の供給・利用量の増加 (35百万m³ [令和4年] →42百万m³ [令和12年まで])

<事業の内容>

1. 林業・木材産業生産基盤強化対策

路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐のほか、木材加工流通施設、特用林産振興施設、木質バイオマス利用促進施設、木造公共建築物の整備や、森林境界の明確化等を支援します。

2. 再造林低コスト化促進対策

再造林に係る低コスト化を進めるため、低密度植栽等の低コスト造林、エリートツリー等の原種増産技術の開発やコンテナ苗の増産に向けた施設整備等を支援します。さらに、再造林に向けた川上から川下まで一体となった取組を支援します。

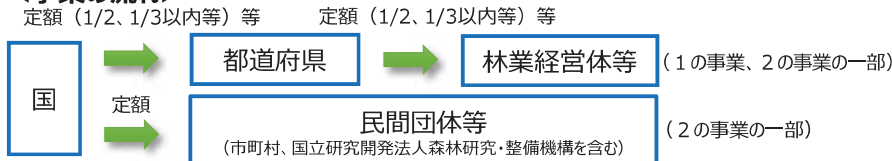
(関連事業)

(R5年度補正予算) 燃油・資材の森林由来資源への転換等対策

2,000百万円

燃油・資材の価格高騰に対応するため、きのこの生産施設の省エネ化や生産資材導入を支援するとともに、木質バイオマスの収集・運搬、木質燃料の製造・熱利用に向けた取組等を支援します。

<事業の流れ>



※ 国有林においては、直轄で実施

<事業イメージ>

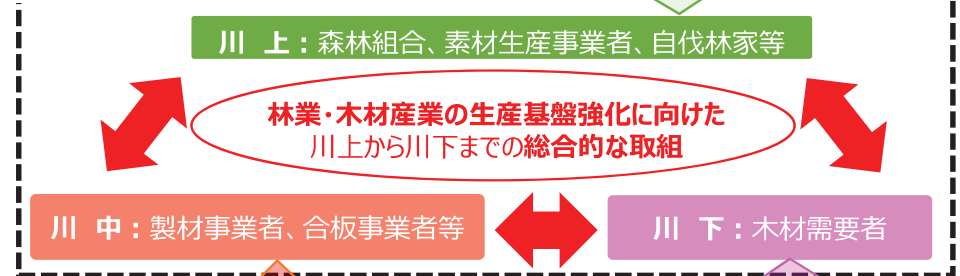
林業・木材産業生産基盤強化対策

路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、間伐材生産、森林整備地域活動支援対策、林業の多様な担い手の育成、山村地域の防災・減災対策、森林資源保全対策 (ナラ枯れ被害対策支援を強化)

再造林低コスト化促進対策

低コスト再造林対策、コンテナ苗生産基盤施設等の整備、優良種苗生産推進対策

事業構想 (都道府県が作成する5年間の取組方針)



林業・木材産業生産基盤強化対策

木材加工流通施設等の整備
 (地域材利用量の増加に係る費用対効果を高めつつ、乾燥能力や原木、製品のストック機能の支援を強化)

林業・木材産業生産基盤強化対策

木質バイオマス利用促進施設の整備 (枝葉や短尺材の利用など木質バイオマスの安定供給に係る取組への支援を強化)、**特用林産振興施設等の整備** (廃菌床の再利用等の取組や新規参入者への支援を強化)、**木造公共建築物等の整備**

【お問い合わせ先】 林野庁計画課 (03-6744-2082)

林業デジタル・イノベーション総合対策

【令和6年度予算概算決定額 420（629）百万円】

（令和5年度補正予算額（林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部）

215百万円）

（令和5年度補正予算額（花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策） 6,000百万円の内数）

<対策のポイント>

林業イノベーションプラットフォームの構築・運営、林業機械の自動化・遠隔操作化、木質系新素材等の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、木材生産高度技術者の育成、「デジタル林業戦略拠点」の構築等を支援します。

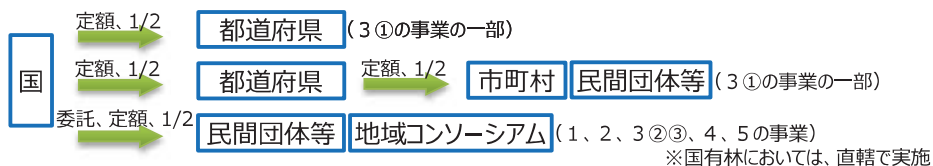
<事業目標>

- 自動化等の機能を持った高性能林業機械等の実用化（8件〔令和7年度まで〕）
- デジタル技術を地域全体でフル活用する取組が普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

- 1. 林業イノベーションハブ構築事業** 39百万円
国がイノベーションの推進に向けた支援プラットフォーム構築・運営等を実施します。
- 2. 戦略的技術開発・実証事業** 70百万円
林業機械の自動化、木質系新素材等の開発・実証を支援します。
- 3. 森林資源デジタル化推進対策**
 - ① 森林資源デジタル管理推進対策** 143百万円
レーザ計測等による森林資源情報のデジタル化等を支援します。
 - ② 森林情報プラットフォーム化推進事業** 11百万円
全国の森林情報を閲覧・取得できるデータプラットフォームの構築等を検討します。
 - ③ 林野火災発生リスク評価対策** 4百万円
林野火災発生危険度予測システムの構築と普及方策の検討を実施します。
- 4. 木材生産高度技術者育成対策** 75百万円
ICT等先進技術を活用する技術者や現場技能者の育成等を実施します。
- 5. デジタル林業戦略拠点構築推進事業** 78百万円
地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

| | | |
|---|---|---|
| 林業イノベーションハブ構築事業 プラットフォーム ○林業事業者や異分野企業等が参画するプラットフォームを構築・運営 ・先進技術の林業分野への導入に向けて、林業事業者や機械メーカー、異分野企業等のマッチングを支援 ・地域のニーズを踏まえてコーディネーターを派遣 | | |
| 戦略的技術開発・実証事業 ○自動化機械、新素材等の開発・実証 林業機械の自動化等に向けた開発・実証 セルロースリグニン等 工業用素材に利用 木の成分を活用した新素材の開発・実証 | 森林資源デジタル化推進対策 ○レーザ計測での資源情報の整備・公開 航空機 ドローン搭載型 地上設置型 デジタル林業の基盤を整備 | 木材生産高度技術者育成対策 ○ICTや先進的な機械等を活用する高度な技術者を育成 小型UAVによる空撮 森林資源の見える化（森林GISの活用） |
| デジタル林業戦略拠点構築推進事業 ○「デジタル林業戦略拠点」の構築 森林調査、伐採・流通、再造林等へのデジタル活用、通信技術活用等 地域コンソーシアム（異分野人材の参画） 都道府県・市町村 出材コーディネーター 県森連等 林業支援サービス事業者 機械メーカー 人材育成のアドバイス 森林資源情報の提供 原木運送会社 アプリ等の開発事業の部分代行 経営・金融のアドバイス 金融機関 大学・研究機関 森林組合A 森林組合B 林業事業者 製材・合板工場 | | |

【お問い合わせ先】

（1、2、3③、4、5の事業）
（3①②の事業）

林野庁研究指導課 (03-3501-5025)
計画課 (03-6744-2339)

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち
建築用木材供給・利用強化対策

【令和6年度予算概算決定額 1,001 (1,198) 百万円】

(令和5年度補正予算額 (林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部) 1,800百万円)
 (令和5年度補正予算額 (花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 6,000百万円の内数)

＜対策のポイント＞

森林経営の持続性を担保しつつ、サプライチェーンの強化や建築用木材の利用実証・普及等の都市の木造化等促進、製材やCLT・LVLの技術開発・普及等を通じた建築物への利用環境整備による安定需要拡大を支援します。

＜事業目標＞

国産材の供給・利用量の増加 (35百万m³ [令和4年] → 42百万m³ [令和12年まで])

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 森林を活かす都市の木造化等促進総合対策事業

- ① 中層建築物に重点を置いた**建築用木材(木質耐火部材、JAS構造材等)の利用実証**、改正建築基準法等に対応した**強度や耐火性に優れた建築用木材に係る技術の開発・普及**を支援します※1。
- ② **円滑な木材供給のための環境整備**に向け、川上から川下までが連携した**木材安定供給体制の構築**や、**JAS製材サプライチェーン構築**に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、木材産業における**作業安全推進**や**輸送効率化に向けた取組**等を支援するとともに、**外国人材の受入れに向けた環境整備**を実施します。

2. CLT・LVL等の建築物への利用環境整備事業

- ① CLTの普及に向け、寸法の標準化に係る**設計・建築の実証**等※1を支援します。
- ② 中高層・非住宅建築物へのCLT・LVLや製材等の利用に向け、**標準的な木造化モデルの作成**や**低コストな接合金物の開発**等を支援します。
- ③ **大径材等の活用に向けた設計手法**や**効率的な加工技術の開発・普及**を支援します。
- ④ **CLT建築物等の設計者・施工者の育成**への支援や**BIM**※2を活用した**設計・施工手法等の標準化**に向けた検討、森林・林業の持続可能性を求める国際的な動きに対応した**木材供給に向けたガイダンスの検討**を実施します。

※1 都市(まち)の木造化推進法に基づく協定締結者を優先的に支援
 ※2 BIM(Building Information Modeling)…コンピュータ上で部材の仕様等の様々な属性情報を併せ持つ3次元の建築物のモデルを構築するシステム

＜事業の流れ＞



森林を活かす都市の木造化等促進総合対策



CLT・LVL等の建築物への利用環境整備



【お問い合わせ先】 林野庁木材産業課 (03-3502-8062)

木材需要の創出・輸出力強化対策

(令和5年度補正予算額 (林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部)

390百万円)

(令和5年度補正予算額 (花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 6,000百万円の内数)

【令和6年度予算概算決定額 298 (425) 百万円】

<対策のポイント>

非住宅建築物等における木材利用促進や木質バイオマスの利用環境整備、木材製品の輸出の促進、木材利用の意義の普及促進、特用林産物の競争力強化等による木材需要の拡大を支援するとともに、合法伐採木材等の流通及び利用の促進を図るための支援等を行います。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加 (35百万m³ [令和4年] →42百万m³ [令和12年まで])

<事業の内容>

1. **非住宅建築物等木材利用促進事業** 57百万円
木の効果の見える化や、地域協議会等に対する専門家派遣等の技術的サポート、工務店等の支援体制の構築に関するモデル的な取組等を支援します。
2. **木質バイオマス利用環境整備事業** 108百万円
林地残材の活用を更に促進するための効率的な収集作業システムの開発・実証、「地域内エコシステム」の普及に向けた取組等を支援します。
3. **木材製品輸出拡大実行戦略推進事業** 21百万円
産地協議会の設置やセミナー開催等による木材輸出産地の育成、海外での木造技術講習会の開催等を支援します。
4. **「クリーンウッド」実施支援事業** 53百万円
事業者による合法性確認の取組や普及啓発の支援、人材の養成、違法伐採関連情報等の提供等を実施します。
5. **ウッド・チェンジ拡大促進支援事業** 28百万円
国産材需要の拡大に向けて、ウッド・チェンジを促進するため、森林資源の循環利用に資する木材利用の意義等への認知向上を図り、普及啓発を推進します。
6. **特用林産物の国際競争力強化・生産性向上対策事業** 31百万円
生産性向上等のモデル的な取組、おが粉の需給動向の把握、輸出先国のニーズ・制度等の情報収集、きのこのDNA鑑定技術の開発・実証等を支援します。

<事業イメージ>

○効果の実証情報収集・分析
○普及資料の作成
○セミナーの開催等
を通じた情報発信

木の効果の見える化

輸出先国における技術者を育成するため海外での講習会等を支援

情報提供サイト「クリーンウッド・ナビ」

木材関連事業者に対する研修を実施

林地残材の効率的な収集作業システムの開発・実証等を支援

各種イベントの開催やブース出展

おが粉の需給動向の把握

地域内エコシステムのモデル構築や横展開の取組を支援

Webコンテンツの制作と情報発信

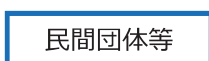
ICT機器設置による生産性向上

輸出先国の情報収集

<事業の流れ>



定額、委託



【お問い合わせ先】

(1~5の事業)
(6の事業)

林野庁木材利用課 (03-6744-2120)
経営課 (03-3502-8059)

森林・林業担い手育成総合対策

(令和5年度補正予算額 (林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部) 320百万円)

(令和5年度補正予算額 (花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 6,000百万円の内数)

<対策のポイント>

新規就業者等への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生の就業や女性の活躍の促進、森林プランナーの育成、技能評価の仕組みの創設、外国人材受入れに向けた条件整備、労働安全対策、森林経営管理制度を担う技術者の能力向上等の取組を推進します。

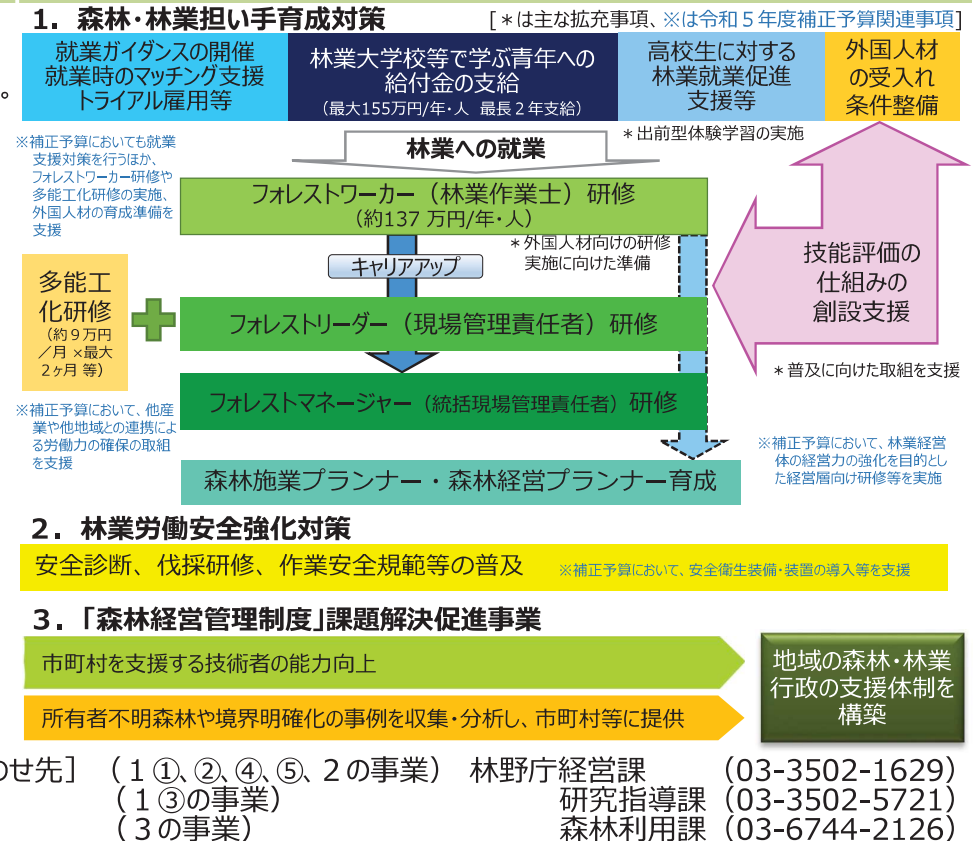
<事業目標>

- 新規就業者の確保 (1,200人 [令和6年度]) ○ 認定森林施業プランナーの育成 (現役人数3,500人 [令和12年度まで])
- 労働安全の向上(死傷年千人率5割削減 [令和12年まで]) ○ 森林経営管理制度の支援を行える技術者の能力向上(1,200人 [令和10年度まで])

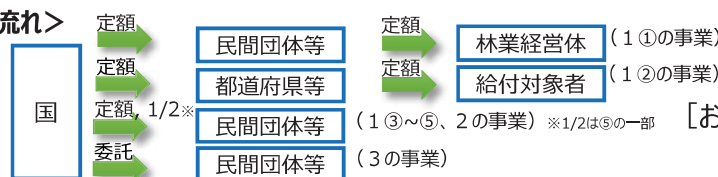
<事業の内容>

- 1. 森林・林業担い手育成対策** 4,619百万円
 - ① 「緑の雇用」担い手確保支援事業 3,941百万円
新規就業者への体系的な研修、現場技能者のキャリアアップ研修等を支援します。
 - ② 緑の青年就業準備給付金事業 543百万円
林業大学校等において、林業への就業に必要な知識・技術等の習得を促進し、将来的に林業経営も担い得る有望な人材として期待される青年を支援します。
 - ③ 未来の林業を支える林業後継者養成事業 21百万円
高校生を対象とする林業への就業促進活動、林業グループや女性林業者の活動等を支援します。
 - ④ 技能評価・外国人材受入推進対策 73百万円
林業に関する技能評価の仕組みの創設、外国人材受入れに向けた条件整備を支援します。
 - ⑤ 森林プランナー育成対策 41百万円
施業集約化に向けた合意形成や木材の有利販売に取り組む森林プランナーの育成に向けた取組を支援し、林業経営体の経営力の向上を図ります。
- 2. 林業労働安全強化対策** 71百万円
労働災害を未然に防止するため、安全診断、研修の実施等を支援します。
- 3. 「森林経営管理制度」課題解決促進事業** 36百万円
市町村を支援する技術者の能力向上研修の実施や、所有者不明森林や境界明確化の事例を収集・分析し、横展開を図ります。

<事業イメージ>



<事業の流れ>



「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

【令和6年度予算概算決定額 154（202）百万円】

＜対策のポイント＞

エリートツリー等の**新たな技術の導入**により、伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる**「新しい林業」の経営モデルの構築**を支援するとともに、国有林において**生産・造林の効率化技術等の実証**を行います。

＜政策目標＞

主伐の林業生産性向上（5割向上〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

1. 経営モデル実証事業

140百万円

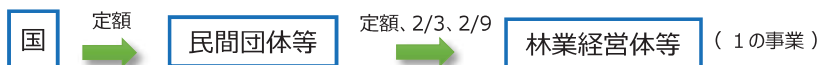
民間団体等が、研究機関などの支援機関と共同した実証事業を行う林業経営体を選定した上で、これらの者が新たな技術の導入により、**森林調査から素材生産・流通、再造林に至るまで収支がプラスとなる取組を行うのに必要な経費**を支援します。

2. 国有林活用型生産・造林モデル実証事業

13百万円

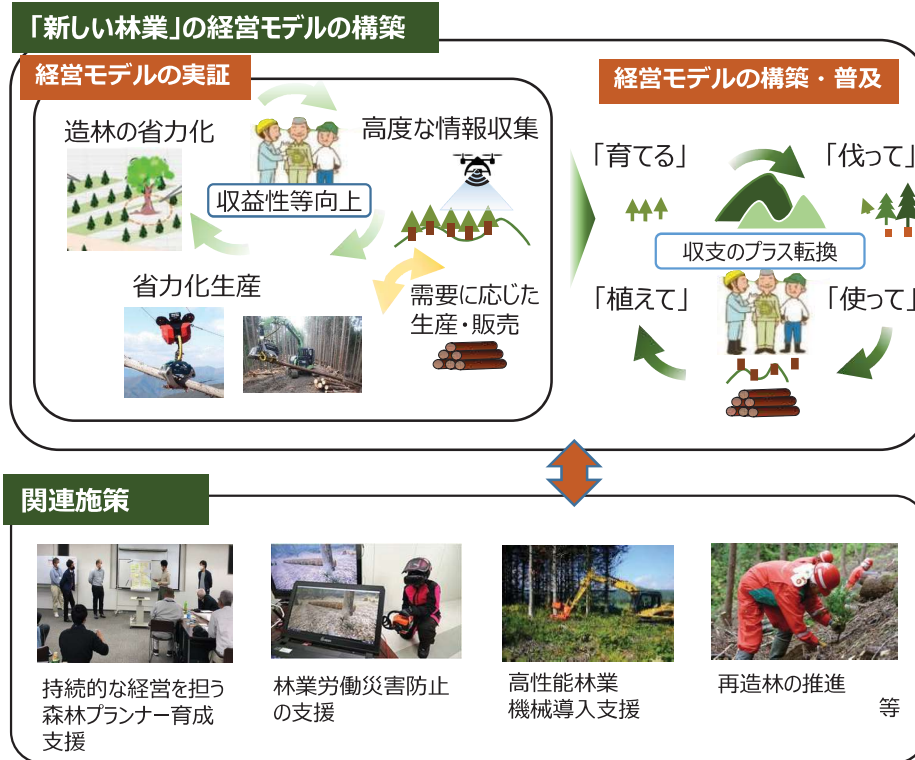
国有林において、新たな**生産・造林の効率化技術等の実証**を行います。

＜事業の流れ＞



※ 2の事業は、国有林において直轄で実施

＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】（1の事業）林野庁経営課（03-3502-1629）
（2の事業）業務課（03-6744-2326）

林業・木材産業金融対策

【令和6年度予算概算決定額 397（554）百万円】

<対策のポイント>

意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援します。

<事業目標>

国産材の供給・利用量の増加（35百万m³ [令和4年] → 42百万m³ [令和12年まで]）

<事業の内容>

1. 林業施設整備等利子助成事業

236百万円

意欲と能力のある林業経営者や自然災害の被害を受けた林業経営者が（株）日本政策金融公庫から資金を借り入れる場合等の利子について、**最大2%・最長10年間助成**します(実質無利子化)。

2. 林業信用保証事業

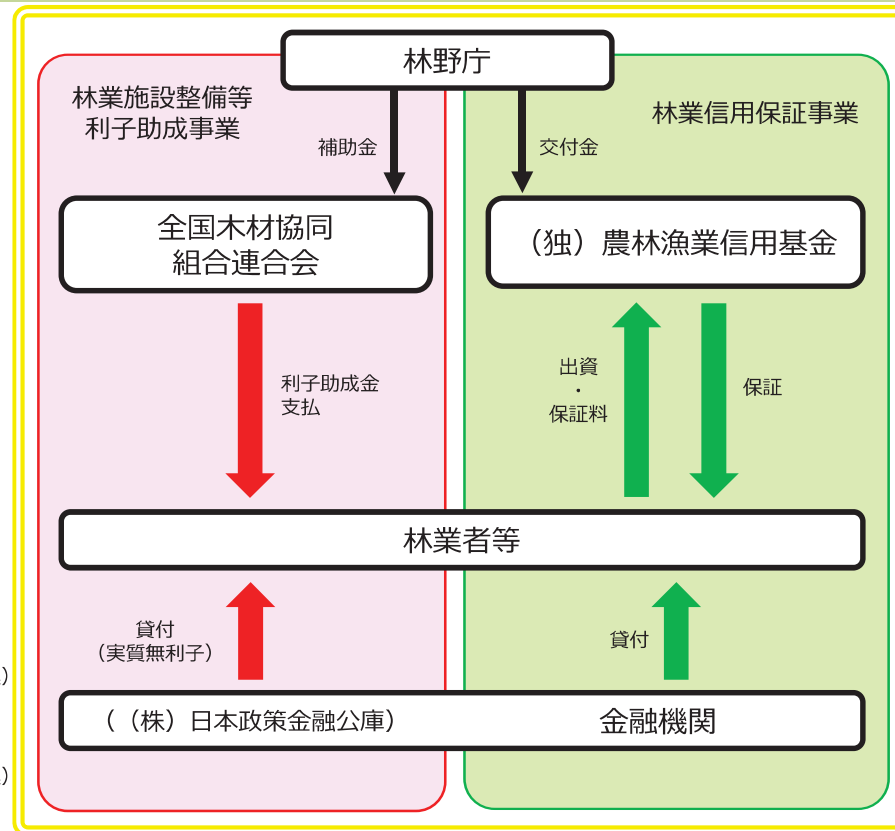
161百万円

林業者等に対する融資の円滑化を図るため、(独)農林漁業信用基金に対し、以下の経費を支援します。

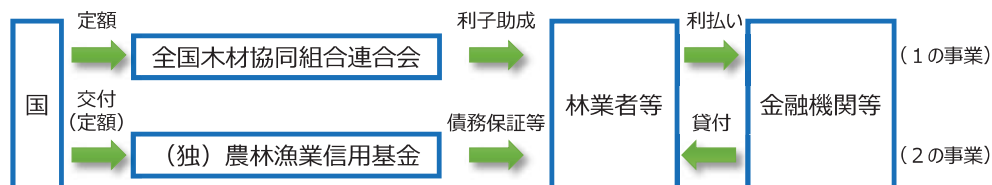
- ① 林業者等が事業承継・創業、重大な災害からの復旧に取り組む際に必要な資金の借入に係る保証料を免除するために必要な経費
- ② 保証料率を軽減し、信用基金の財務基盤等を維持するために必要な経費

等

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 林野庁企画課 (03-3502-8037)

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち
森林・山村地域振興対策

【令和6年度予算概算決定額 952（1,141）百万円】

＜対策のポイント＞

里山林の継続的な保安全管理や利用等の協働活動、国民の幅広い参画による森林づくり、新たな森林空間利用の創出に向けた取組の実施や環境整備、森林整備を通じて「山の炭素吸収」を拡大する自治体の取組を企業等が応援する仕組みの整備や森林由来J-クレジットの創出・活用に向けた取組を推進します。

＜事業目標＞

- 地域外からの活動参加者数（関係人口を含めた活動への参加者数）が増加した活動組織の割合を毎年度増加
- 国民参加による植樹の推進（1億本〔令和12年度まで〕）
- 新たな森林空間利用に関心のある企業等（382企業等〔令和4年度末時点〕→610企業等〔令和8年度まで〕）
- 森林管理プロジェクトのクレジット認証量の拡大（12.9万CO2t〔令和4年度まで〕→120万CO2t〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞

- 1. 森林・山村多面的機能発揮対策** 851百万円
 地域住民や地域外関係者等による活動組織が実施する森林の保安全管理、森林資源の活用を図る取組等を支援します。
- 2. 国民参加の植樹等の推進** 56百万円
 全国植樹祭等の全国規模の緑化行事の開催や、森林づくりに参画を希望する企業等と植栽場所のコーディネートを行うサポート体制構築等を支援します。
- 3. 新たな森林空間利用創出対策** 34百万円
 健康づくりに関心がある企業等に対する森林空間利用のニーズ調査やマッチング機会創出、「日本美しの森 お薦め国有林」の観光利用を推進するための環境整備等を実施します。
- 4. 山の炭素吸収応援プロジェクト** 11百万円
 企業等との連携による「山の炭素吸収」拡大に向けた取組応援サイトの整備や、森林由来J-クレジットの創出・活用の拡大に向けた需要側への普及啓発等の取組を実施します。

＜事業イメージ＞

里山の保安全管理

森林・山村多面的機能発揮対策



地域住民や地域外関係者等による里山林の機能維持等

「森林づくり」意識の醸成

国民参加の植樹等の推進



全国規模の緑化行事の開催、企業等と植栽場所のコーディネート等

新たな森林空間利用の創出

新たな森林空間利用創出対策



森林空間利用のニーズ調査とマッチング機会創出

「日本美しの森 お薦め国有林」の環境整備など



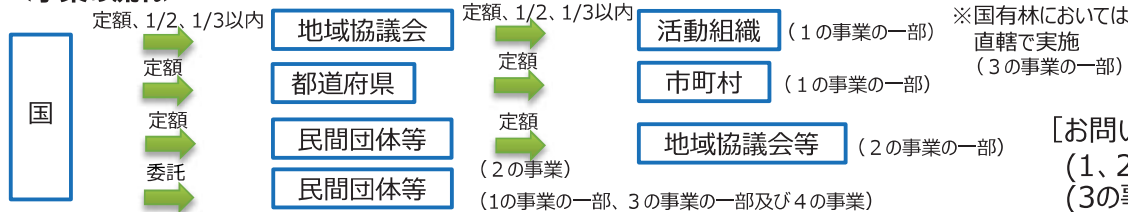
多言語案内標識の整備

森林由来J-クレジットの利用拡大

山の炭素吸収応援プロジェクト

自治体等による取組を応援するサイトの整備、J-クレジットの創出・活用の拡大に向けた需要家への普及啓発など

＜事業の流れ＞



都市部の企業や国民の山村地域への関わり増加
 （関係人口や投資の増大）

森林の多面的機能の発揮、山村集落の維持活性化

【お問い合わせ先】
 (1、2、3(一部)、4の事業) 林野庁森林利用課 (03-3502-0048)
 (3の事業の一部) 林野庁経営企画課 (03-6744-2321)

林業・木材産業国際競争力強化総合対策〈一部公共〉

【令和5年度補正予算額 45,811百万円】

〈対策のポイント〉

木材産業の国際競争力強化や木材輸出の拡大に向けた原木・木材製品等の生産体制の強化、林業イノベーションの推進、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、日本産木材製品等の輸出拡大、林業の担い手の育成・確保を支援します。

〈事業目標〉

国産材の供給・利用量の増加（34百万m³〔令和3年度〕→42百万m³〔令和12年度まで〕）

〈事業の内容〉

1. 林業・木材産業の生産基盤強化〈一部公共〉

路網整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、木材加工流通施設の整備等を支援します。

2. 林業のデジタル化・イノベーションの推進

航空レーザ計測による森林資源情報のデジタル化を支援するとともに、林業機械の自動化・遠隔操作化技術、木質系新素材の開発・実証を支援します。

3. 建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）

JAS構造材の建築物への利用実証・普及、CLTを用いた中高層・非住宅建築物の実証、外構部の木質化の推進等を支援します。

4. 木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）

日本産木材製品のプロモーション活動、輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品・技術開発や性能検証、特用林産物の販売促進活動、きのこの知的財産保護の取組を支援します。

5. 林業の担い手の育成・確保

新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入等を支援します。

〈事業イメージ〉

林業・木材産業の生産基盤強化

- 木材製品の国際競争力の強化に向けた合板・製材・集成材工場等の大規模・高効率化、低コスト化、高付加価値化等のための木材加工流通施設の整備
- 原木の低コストかつ安定的な供給のための路網整備、高性能林業機械等の導入、搬出間伐の実施等



木材加工施設の整備



路網の整備

林業のデジタル化・イノベーションの推進

- 路網整備や施業集約化を省力化・効率化する航空レーザ計測・解析
- 林業の安全性・生産性の向上に資する林業機械の自動化・遠隔操作化技術の開発・実証等



森林資源情報のデジタル化

建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）

- 非住宅分野等における木材製品の消費拡大に向けた
- CLTを活用した設計・建築等の実証
- JAS構造材の実証的な活用
- 木製塀の外構部等の木質化の実証等



CLTを活用した設計・建築実証

木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）

- 日本産木材製品の認知度向上のための訪日外国人向けのプロモーション活動
- 付加価値の高い木材製品の輸出促進に向けた輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品開発・性能検証等



輸出先国の規格・基準に対応した性能検査

林業の担い手の育成・確保

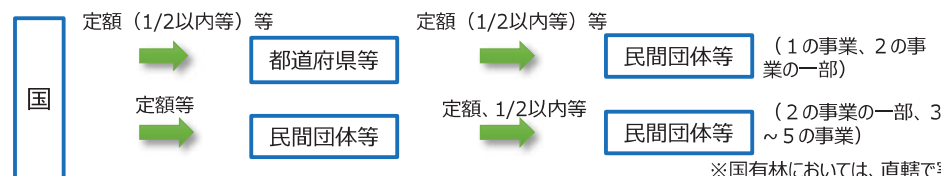
- 新規就業者が効率的な技術等を習得するための体系的な研修
- 労働安全衛生装備・装置の導入等



労働安全研修

【お問い合わせ先】は次頁参照

〈事業の流れ〉



林業・木材産業国際競争力強化総合対策〈一部公共〉 [お問い合わせ先一覧]

| 事業 | | 林野庁担当課 | 電話番号 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--------|--------------|
| 1. 林業・木材産業の生産基盤強化のうち、 | | | |
| 木材産業の輸出促進・体質強化対策 | 生産性向上や競争力のある製品生産等に向けた木材加工流通施設等の整備 | 木材産業課 | 03-6744-2292 |
| 原木の生産基盤整備・低コスト安定供給対策 | 路網整備・機能強化、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化 | 整備課 | 03-6744-2303 |
| | 原木の供給力強化に向けた高性能林業機械等の整備 | 経営課 | 03-3502-8055 |
| 2. 林業のデジタル化・イノベーションの推進のうち、 | | | |
| 森林資源情報の整備 | | 計画課 | 03-6744-2339 |
| 林業機械・木質系新素材の開発・実証 | | 研究指導課 | 03-3501-5025 |
| 3. 建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）のうち、 | | | |
| CLT建築実証支援、JAS構造材実証支援 | | 木材産業課 | 03-6744-2294 |
| 外構部等の木質化対策支援 | | 木材利用課 | 03-6744-2626 |
| 4. 木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）のうち、 | | | |
| 日本産木材製品のプロモーション活動支援 | | 木材利用課 | 03-6744-2299 |
| 輸出先国のニーズに合わせた木材製品の開発支援 | | 木材産業課 | 03-6744-2295 |
| 特用林産物の需要拡大 | 特用林産物の情報発信等の販売促進活動 | 経営課 | 03-3502-8059 |
| | きのご品種の育成者権侵害実態の把握や簡易DNA鑑定技術の開発・実証 | 経営課 | 03-3502-8059 |
| 5. 林業の担い手の育成・確保 | | | |
| 新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入等 | | 経営課 | 03-3502-1629 |
| (全般について) | | 計画課 | 03-6744-2082 |

林業の担い手の育成・確保（林業従事者等確保緊急支援対策）

【令和5年度補正予算額 45,811百万円の内数】

<対策のポイント>

林業従事者等の確保に向け、**新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入等**を支援します。

<事業目標>

新規就業者の確保（1,200人〔令和5年度〕）

<事業の内容>

1. 「緑の雇用」担い手確保支援事業

就業や移住などの情報を提供する**就業ガイダンス**、就業時のミスマッチを抑制するための**就業前の現地訪問の取組**、就業希望者が林業への適性を判断する**トライアル雇用**の実施、**新規就業者が安全で効率的な技術等を習得するための体系的な研修**や複数の作業等を学ぶ**多能工化研修**の実施、**外国人材の育成準備**に必要な取組を支援します。

2. 労働安全対策・経営力強化対策

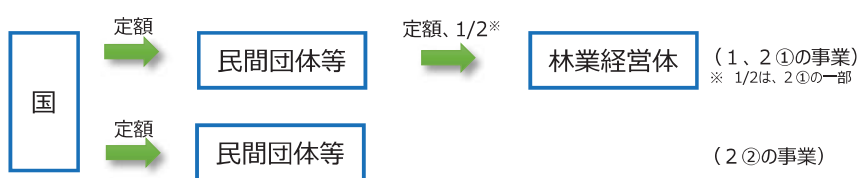
① 林業労働安全確保対策

安全で衛生的な職場づくりのために、**労働安全衛生装備・装置の導入及び労働安全研修**の取組を支援します。

② 林業経営体強化対策


林業経営体の経営力を強化するために、**経営層向けの研修等**を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 「緑の雇用」担い手確保支援事業

| | | |
|------------------------------------|--|---|
| 就業ガイダンス | 林業に興味のある方へ林業就業や地方移住などに関する情報提供 |  就業ガイダンスの様子 |
| 就業時マッチング | 就業時のミスマッチによる離職を抑制するための就業希望者に対する就業前の現地訪問によるマッチング | |
| トライアル雇用 (約9万円/月×最大3ヶ月等) | 林業の作業実態や就労条件について理解を促進し、適性を判断することで、地方への定着を図るための短期研修 | 外国人材の育成準備 技能実習生等の外国人材の受入れに向け、外国人材が安全で効率的な作業を習得するための準備 |
| フォレストワーカー研修 (約137万円/年・人) | 新規就業者が安全で効率的な知識・技術・技能を習得するための3年間の体系的な研修 * 伐採事業を開始する経営体の従業員の研修参加 | |
| 多能工化研修 | 現場技能者が林業の複数の作業（造林・伐採）や複数の作業工程（伐木・造材・集材等）の技術等を学ぶ研修 | |

2. 労働安全対策・経営力強化対策

| | |
|---|--|
| 林業労働安全確保対策 | 林業経営体強化対策 |
| 労働安全衛生装備・装置の導入 + 労働安全研修の実施 | 経営層向けマネジメント研修等の実施 |
|  | 人材育成 能力評価の人材育成手法 |
|  | 労務管理 従業員の勤怠や福利厚生といった労働に関連することや、健康やハラスメントなどの対策 |
| | 能力向上 組織運営の課題と解決に向けたワークショップ |

【お問い合わせ先】 林野庁経営課（03-3502-1629）

花粉症解決に向けた緊急総合対策 <一部公共>

<対策のポイント>

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散量の予測、スギ花粉の飛散防止、スギ花粉米の実用化等の総合的な対策を緊急に支援します。

<政策目標>

スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減〔令和15年度まで〕、5割削減〔令和35年度まで〕）

<事業の内容>

1.花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

6,000百万円

① スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域を設定し、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業、森林所有者への働きかけ支援による意欲ある林業経営体への**森林の集約化**を支援します。

② スギ材の需要拡大

住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進、集成材工場や保管施設等の整備、建築物へのスギ材利用の機運醸成を支援します。

③ 花粉の少ない苗木の生産拡大

官民を挙げた苗木増産体制の強化、細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発、花粉の少ない苗木の**広域流通**を支援します。

④ 林業の生産性向上及び労働力の確保

意欲ある木材加工業者等に対する**高性能林業機械の導入**、農業や建設業など他産業との連携等を支援します。

⑤ 花粉飛散量の予測・飛散防止

航空レーザー計測による森林資源情報の高度化、森林現場におけるスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査の実施を支援します。

（関連事業）林業・木材産業国際競争力強化総合対策 <一部公共>

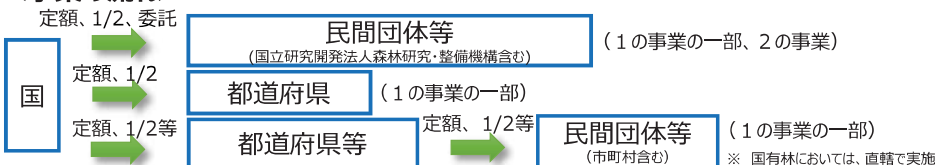
45,811百万円の内数

2.スギ花粉米の実用化に向けた官民協働の取組の推進

15百万円

官民が連携し、実用化に向けた課題とその解決策の整理等を進めます。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 発生源対策

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域を設定し、
・伐採・植替えの一貫作業と路網整備を推進
・意欲ある林業経営体への**森林の集約化**の促進



<路網の整備> <再造林>

林業の生産性向上及び労働力の確保

・意欲ある木材加工業者等に対する**高性能林業機械の導入**
・農業・建設業等の**他産業、他地域**との連携の推進



<材の枝払い、玉切り等を連続して行う高性能林業機械>

花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

スギ材需要の拡大

・住宅分野における**スギJAS構造材等の利用促進**
・**集成材工場、保管施設等の整備**
・建築物へのスギ材利用の機運の醸成



<スギJAS集成材>

花粉の少ない苗木の生産拡大

・森林研究・整備機構における**原種増産施設の整備**
・都道府県における**採種園・採穂園の整備**
・民間事業者による**コンテナ苗木増産施設の整備**
・スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発
・苗木の生産量が多い産地から**少ない地域への供給の促進**



<原種増産施設>



<閉鎖型採種園>

2. 飛散対策

花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

スギ花粉飛散量の予測

・花粉飛散予測の高度化に向けた**航空レーザー計測・解析**を推進



<林相区分図の整備>

スギ花粉の飛散防止

・森林現場でスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査を支援



<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

3. 発症・曝露対策

スギ花粉米の実用化に向けた官民協働の取組の推進

・スギ花粉米について、官民が連携し、実用化に向けた課題とその解決策の整理等を実施



【お問い合わせ先】

（1の個別事業のお問い合わせ先は次頁参照）

1の事業 林野庁計画課（03-6744-2082）

2の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官室（基礎・基盤、環境）（03-3502-0536）

花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策 <一部公共> [お問い合わせ先一覧]

| 事業 | | 担当部署 | 電話番号 |
|---------------------|-----------------------------------|----------|--------------|
| ①スギ人工林の伐採・植替え等の加速化 | 伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業 | 林野庁整備課 | 03-6744-2303 |
| | 森林所有者への働きかけ支援による意欲ある林業経営体への森林の集約化 | 林野庁森林利用課 | 03-3501-3845 |
| ②スギ材の需要拡大 | 住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進 | 林野庁木材産業課 | 03-6744-2295 |
| | 集成材工場や保管施設等の整備 | 林野庁木材産業課 | 03-6744-2292 |
| | 建築物へのスギ材利用の機運醸成 | 林野庁木材利用課 | 03-6744-2298 |
| ③花粉の少ない苗木の生産拡大 | 森林研究・整備機構における原種増産施設の整備 | 林野庁研究指導課 | 03-6744-2312 |
| | 都道府県における採種園・採穂園の整備 | 林野庁研究指導課 | 03-6744-2312 |
| | 民間事業者によるコンテナ苗増産施設の整備 | 林野庁整備課 | 03-3502-8065 |
| | スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発 | 林野庁研究指導課 | 03-6744-2312 |
| | 苗木の生産量が多い産地から少ない地域への供給の促進 | 林野庁整備課 | 03-3502-8065 |
| ④林業の生産性向上及び労働力の確保 | 意欲ある木材加工業者等に対する高性能林業機械の導入 | 林野庁経営課 | 03-3502-8055 |
| | 農業・建設業等の他産業、他地域との連携の推進 | 林野庁経営課 | 03-3502-1629 |
| ⑤花粉の飛散量の予測・飛散防止 | 花粉飛散予測の高度化に向けた航空レーザ計測・解析 | 林野庁計画課 | 03-6744-2339 |
| | スギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査 | 林野庁森林利用課 | 03-3501-3845 |
| (林野庁の花粉症対策施策全般について) | | 林野庁森林利用課 | 03-3501-3845 |

森林整備事業 <公共>

【令和6年度予算概算決定額 125,370 (125,249) 百万円】
 (令和5年度補正予算額 47,701百万円)

<対策のポイント>

花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けて、間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等を着実に推進します。

<事業目標>

- 森林吸収量の確保に向けた間伐の実施 (45万ha [令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均])
- スギ花粉の発生量の削減 (令和2年度比 約2割削減 [令和15年度まで]、5割削減 [令和35年度まで])

<事業の内容>

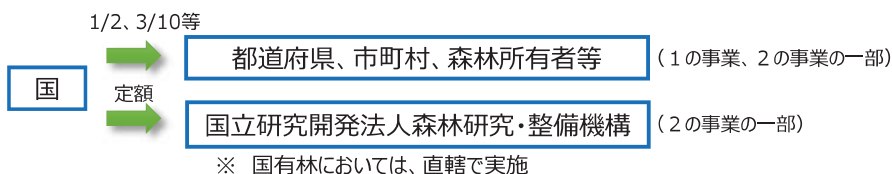
1. 間伐や再造林、路網整備等

- ① 花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進めます。
- ② 林業適地等における林道の開設・改良等を支援します。
- ③ 林道整備と併せて行う幅員が狭い農道の一体的な改良を支援します。

2. 豪雨・台風等による被害を受けた森林等の整備、林道の強靱化

- ① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、重要インフラ施設周辺の森林等について、公的主体による復旧・整備を推進します。
- ② 防災上重要な幹線林道の開設・改良や林道施設の老朽化対策を支援し、林道の強靱化を推進します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

間伐や再造林、路網整備等

<林業適地等における対応>

低コスト造林による再造林面積の確保 / 路網整備の推進により再造林等を後押し

森林資源の適正な管理

公益的機能の持続的発揮

●花粉発生源対策
スギ人工林において伐採・植替えの一貫作業等を支援

●林道整備と併せて行う農道改良
大型トラック等が通行できない林道手前の農道を、林道整備と併せて改良

一貫作業の実施

急なカーブ / 幅員が狭い箇所

豪雨・台風等による被害を受けた森林等の整備、林道の強靱化

重要インフラ施設周辺の森林や奥地水源林等について、公的主体による復旧・整備を推進

防災上重要な幹線林道の開設・改良等による林道の強靱化

道路に近接する森林 / 奥地水源林 / 法面の整備等による防災機能の強化

【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)

治山事業 <公共>

【令和6年度予算概算決定額 62,351 (62,291) 百万円】
 (令和5年度補正予算額 26,800百万円)

<対策のポイント>

豪雨や地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、**流木対策**や**機能強化対策**の充実など、**多様化する災害に対応した治山対策**を図るとともに、**流域治水との連携拡大**や**生態系を活用した防災・減災 (Eco-DRR)** 等の強化により、**国土強靱化に向けた取組を推進**します。

<事業目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加

<事業の内容>

1. 多様化する災害に対応した治山対策の推進

- ① 流木災害の頻発・多様化を踏まえ、**各事業で実施可能な流木対策メニューを充実し対応力を強化**することにより、被害の防止・軽減を図ります。
- ② レーザ計測等を活用した調査と工事を一体的に行う**山地災害重点地域総合対策事業**において、**山地災害危険地区の点検も可能**にし、効率的な対策を推進します。
- ③ 災害の広域化や復旧期間の長期化等を踏まえ、**災害復旧事業に引き続き実施する事業の実施期間の設定条件を見直し**ます。

このほか、農山漁村地域整備交付金において、

- ④ 局地的な大雪の発生や被害が懸念される中、**林地荒廃防止事業の対象地域に特別豪雪地帯を追加し、積雪地域の治山対策を強化**します。
- ⑤ 学校や病院等の**公共施設を保全する治山施設の機能強化対策を強化**します。

2. 生態系を活用した防災・減災 (Eco-DRR) 等の強化

- ① 流域保全総合治山事業において、**流域治水との連携拡大に資する2級水系に対応した要件**や森林の循環利用に資する**木材利用を必須とする要件を追加**します。
- ② 海岸防災林の機能の適切な発現・強化のため、**防災林造成事業において、生育基盤盛土の整備が対象であることを明確化**します。

※ このほか、治山事業におけるICT化を推進するとともに事業実施主体の事務負担を軽減するため、**ICT施工の導入に伴う設計書の変更協議を簡素化**します。

<事業の流れ>



※ 国有林や民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

<事業イメージ>

○多様化する災害に対応した治山対策の推進



頻発・多様化する流木災害

機能強化対策の強化

積雪地域の治山対策の強化

○生態系を活用した防災・減災 (Eco-DRR) 等の強化



2級水系への流域治水の連携拡大とEco-DRRの強化

【お問い合わせ先】 林野庁治山課 (03-6744-2308)

農山漁村地域整備交付金〈公共〉

【令和6年度予算概算決定額 76,999 (77,390) 百万円】

〈対策のポイント〉

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援します。

〈事業目標〉

- 全農地面積に占める担い手が利用する面積の割合の増加（8割）
- 木材供給が可能となる育成林の資源量の増加
- ゼロメートル地帯等における海岸堤防等の津波・高潮対策の実施率（64% [令和7年度まで]）

〈事業の内容〉

1. 都道府県又は市町村は、地域の実情に応じて農山漁村地域整備の目標等を記載した農山漁村地域整備計画を策定し、これに基づき事業を実施します。

2. 農業農村、森林、水産の各分野において、農山漁村地域の生産現場の強化や防災力の向上のための事業を選択して実施することができます。

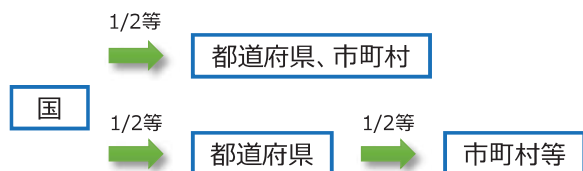
- ① 農業農村分野：農地整備、農業用排水施設整備、海岸保全施設整備等
- ② 森林分野：予防治山、路網整備等
- ③ 水産分野：漁港漁場整備、漁村環境整備、海岸保全施設整備等

※ このほか、盛土による災害の防止に向けた緊急的な対策等を支援します。

3. 都道府県又は市町村は、自らの裁量により地区ごとに交付金の配分が可能です。

また、都道府県の裁量で地区間の融通が可能です。

〈事業の流れ〉



〈事業イメージ〉

交付金を活用した事業例

【農業農村基盤整備】



ほ場整備による農業生産性の向上と秩序ある土地利用の推進
老朽化した用水路の整備・更新

【水産基盤整備】



漁業作業の効率化と安全対策のための漁港整備（岸壁改良）
漁村における津波避難対策（避難施設、避難経路の整備）

【森林基盤整備】



林道等の整備により効率的な間伐材等の搬出を実現
治山施設による山地災害の未然防止

【海岸保全施設整備】



津波、高潮による被害を未然に防ぐため海岸堤防の整備を推進
津波・高潮対策としての水門整備

（共通） 切迫する南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の発生を見据えた防災インフラ整備

【お問い合わせ先】（農業農村分野） 農村振興局地域整備課 (03-6744-2200)
 （森林分野） 林野庁計画課 (03-3501-3842)
 （水産分野） 水産庁防災漁村課 (03-6744-2392)

治山施設の設置等による防災・減災対策 <公共>

【令和5年度補正予算額 26,800百万円】

<対策のポイント>

豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、令和5年の梅雨前線や台風に伴う大雨等により荒廃した山地・溪流の復旧整備を推進するとともに、山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、治山施設の整備等による防災・減災対策を推進します。

<事業目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加（約56.2千集落 [平成30年度] →約58.6千集落 [令和5年度まで]）

<事業の内容>

1. 荒廃山地・溪流の緊急的な復旧整備

令和5年の梅雨前線や台風による大雨等により荒廃した山地・溪流について、下流への被害を防止するための緊急的な復旧整備を推進します。

2. 激甚化する災害を踏まえた防災・減災対策

山地災害危険地区や氾濫した河川上流域等を対象に、森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能等の適切な発揮のため、流域治水の取組等とも連携しつつ、流木、土石流、山腹崩壊の発生を抑制する治山施設の整備等を推進します。

<事業イメージ>



山地災害危険地区のうち、特に緊要度の高いエリアにおける治山施設の整備



流木捕捉式治山ダムの設置



土砂の流出・侵食を防止し、森林の保水機能を向上



土砂流出を防止する治山ダム群の整備



筋工・柵工と組み合わせた保安林整備

<事業の流れ>



※ 国有林、民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】 林野庁治山課 (03-6744-2308)

森林整備による防災・減災対策 <公共>

【令和5年度補正予算額 17,200百万円】

<対策のポイント>

森林の防災・保水機能の発揮のため、**山地災害危険地区周辺や氾濫した河川の上流域等における間伐等の森林整備**のほか、防災機能の強化に向けた**林道の開設・改良**等を推進します。

<事業目標>

森林吸収量2.7%（平成25年度総排出量比）の確保に向けた間伐の実施（令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均：45万ha）

<事業の内容>

1. 防災・保水機能を高めるための森林整備

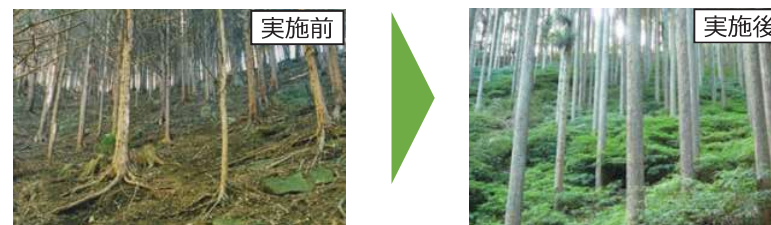
森林の防災・保水機能を発揮させるため、流域治水の取組等とも連携しつつ、**山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち特に緊要度の高いエリア、氾濫した河川上流域等を対象に間伐、再造林等の森林整備**を推進します。

2. 防災機能の強化に向けた路網整備

強靱で災害に強い林道の開設・改良等を推進します。

<事業イメージ>

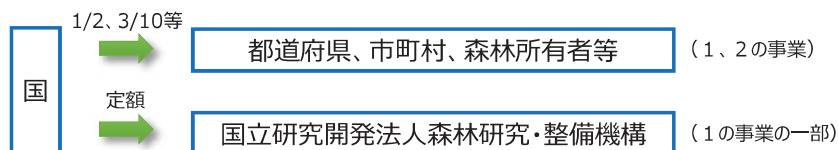
防災・保水機能を高めるための森林整備



防災機能の強化に向けた路網整備



<事業の流れ>



※ 国有林においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-6744-2303）

災害復旧等事業（山林施設） <公共>

【令和6年度予算概算決定額 10,461（10,399）百万円】
 （令和5年度補正予算額 33,245百万円）

<対策のポイント>

我が国は、国土の自然的、地理的条件から、暴風、洪水、高潮、地震等の災害を極めて受けやすい状況にあり、毎年多くの災害が発生しています。災害復旧等事業（山林施設）では、豪雨、地震等により被災した治山・林道施設や荒廃山地等を早期に復旧し、国土の保全や生産活動の維持、地域の安全・安心の確保を推進します。

<政策目標>

被災した治山・林道施設や荒廃山地等の速やかな復旧整備

<事業の内容>

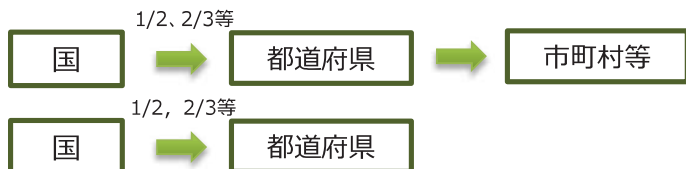
1. 山林施設災害復旧事業 5,345(5,360)百万円
25,557百万円

○ 災害により被災した治山・林道施設等の復旧整備を実施します。

2. 山林施設災害関連事業 5,116(5,039)百万円
7,688百万円

○ 災害により新たに発生し、又は拡大した荒廃山地等において、再度災害を防止するため、緊急的な復旧整備を実施します。

<事業の流れ>



（山林施設災害復旧事業については、激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律等による高上げ制度あり）

※ このほか、国有林野や、民有林のうち大規模な崩壊地等については国による直轄事業を実施。

<事業イメージ>

山林施設災害復旧事業

治山施設の復旧



林道施設の復旧



山林施設災害関連事業

荒廃山地の復旧



【お問い合わせ先】 (1) 林野庁治山課 (03-3501-4756)
 (2) 林野庁整備課 (03-6744-2304)
 (3) 林野庁業務課 (03-3502-8349)

農林水産省における花粉症対策に関する取組

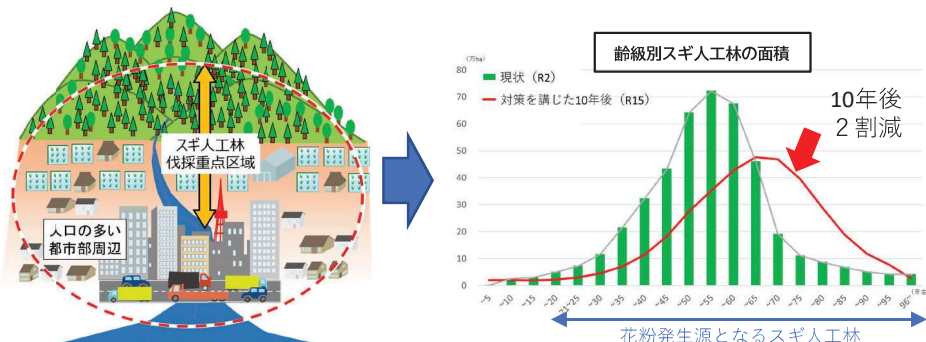
林政審議会（令和6年10月17日開催）資料より抜粋

1. 発生源対策

10年後に花粉発生源のスギ人工林を約2割減少させることを目指す。これにより、花粉が多いシーズンでも、**平年並みの水準まで減少させる効果が期待**。将来的（約30年後）には**花粉発生量の半減**を目指す。

(1) スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

- 本年度中に「スギ人工林伐採重点区域」を設定
- 伐採・植替えの一貫作業と路網整備の推進
- 意欲ある林業経営体への**森林の集約化**の促進



(3) 花粉の少ない苗木の生産拡大

- 森林研究・整備機構における**原種増産施設**の整備支援
- 都道府県における**採種園・採穂園**の整備支援
- 民間事業者による**コンテナ苗増産施設**の整備支援
- スギの未熟種子から苗木を増産する**技術開発**支援



コンテナ苗生産施設

(4) 林業の生産性向上及び労働力の確保

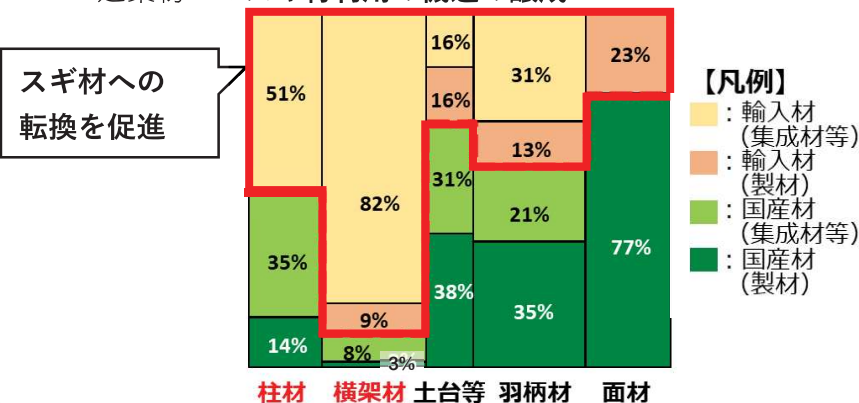
- 意欲ある木材加工業者等に対する**高性能林業機械**の導入支援
- 農業・建設業等の**他産業、他地域、地域おこし協力隊**との連携の推進
- 外国人材**の受入れ拡大



材の枝払い、玉切り等を連続して行う高性能林業機械

(2) スギ材需要の拡大

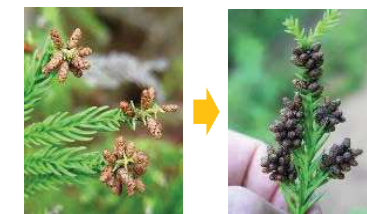
- 住宅分野における**輸入材からスギ材への転換促進**
- 集成材工場、保管施設等の整備支援**
- 建築物への**スギ材利用の機運の醸成**



2. 飛散対策

(1) スギ花粉飛散量の予測

- スギ雄花花芽調査の民間提供情報の詳細化
- 航空レーザー計測による**森林資源情報の高度化及びデータの公開**を推進



飛散防止剤により枯死した雄花

(2) スギ花粉の飛散防止

- 森林現場でスギ花粉の飛散防止剤の**実証試験・環境影響調査**を実施

3. 発症・曝露対策

- スギ花粉米の実用化に向け、官民協働の取組を推進

花粉症対策 初期集中対応パッケージ

林政審議会（令和6年10月17日
開催）資料より抜粋

令和5年10月11日 花粉症に関する関係閣僚会議決定

- 未だ多くの国民を悩ませ続けている花粉症問題の解決に向け、来年の花粉の飛散時期を見据えた施策のみならず、今後10年を視野に入れた施策も含め、花粉症解決のための道筋を示す「花粉症対策の全体像」を取りまとめ（本年5月30日）。
- 来年の花粉の飛散時期が近づく中、「花粉症対策の全体像」に基づき、発生源対策、飛散対策及び発症・曝露対策について、「全体像」の想定する期間の初期の段階から集中的に実施すべき対応を本パッケージとして取りまとめ、その着実な実行に取り組む。

1. 発生源対策

●スギ人工林の伐採・植替え等の加速化【林野庁】

本年度中に**重点的に伐採・植替え等を実施する区域を設定**し、次の取組を実施

- ・スギ人工林の**伐採・植替えの一貫作業**の推進
- ・伐採・植替えに必要な**路網整備**の推進
- ・意欲ある林業経営体への**森林の集約化**の促進

●スギ材需要の拡大【林野庁・国土交通省】

- ・木材利用をしやすくする改正**建築基準法の円滑な施行**（令和6年4月施行予定）
- ・本年中を目処に、国産材を活用した**住宅に係る表示制度を構築**
- ・本年中を目処に、**住宅生産者の国産材使用状況等を公表**
- ・建築物への**スギ材利用の機運の醸成**、住宅分野における**スギ材への転換促進**
- ・大規模・高効率の**集成材工場、保管施設等の整備支援**

●花粉の少ない苗木の生産拡大【林野庁】

- ・国立研究開発法人森林研究・整備機構における**原種増産施設の整備支援**
- ・都道府県における**採種園・採穂園の整備支援**
- ・民間事業者による**コンテナ苗増産施設の整備支援**
- ・スギの未熟種子から花粉の少ない**苗木を大量増産する技術開発支援**

●林業の生産性向上及び労働力の確保【林野庁】

- ・意欲ある木材加工業者、木材加工業者と連携した素材生産者等に対する**高性能林業機械の導入支援**
- ・農業・建設業等の**他産業**、施業適期の異なる**他地域**や**地域おこし協力隊**との連携の推進
- ・**外国人材**の受入れ拡大

2. 飛散対策

●スギ花粉飛散量の予測

来年の花粉飛散時期には、より精度が高く、分かりやすい花粉飛散予測が国民に提供されるよう、次の取組を実施

- ・今秋に実施するスギ雄花**花芽調査**において民間事業者へ提供する**情報を詳細化**するとともに、12月第4週に調査結果を公表【環境省・林野庁】

- ・引き続き、航空レーザー計測による**森林資源情報の高度化**、及び、その**データの公開**を推進【林野庁】

- ・飛散が本格化する3月上旬には、スーパーコンピューターやAIを活用した、花粉飛散予測に特化した詳細な**三次元の気象情報を提供**できるよう、クラウド等を整備中【気象庁】

- ・本年中に、**花粉飛散量の標準的な表示ランクを設定**し、来年の花粉飛散時期にはこの表示ランクに基づき国民に情報提供されるよう**周知**【環境省】

●スギ花粉の飛散防止

- ・引き続き、森林現場におけるスギ花粉の**飛散防止剤の実証試験・環境影響調査**を実施【林野庁】

3. 発症・曝露対策

●花粉症の治療

- ・花粉飛散時期の前に、関係学会と連携して**診療ガイドラインを改訂**【厚生労働省】

- ・**舌下免疫療法治療薬**について、まずは**2025年からの倍増（25万人分→50万人分）**に向け、森林組合等の協力による**原料の確保や増産体制の構築等**の取組を推進中【厚生労働省・林野庁】

- ・花粉飛散時期の前に、飛散開始に合わせた**早めの対症療法の開始が有効**であることを周知

- ・患者の状況等に合わせて医師の判断により行う、**長期処方や令和4年度診療報酬改定で導入されたリフィル処方**について、前シーズンまでの治療で合う治療薬が分かっているケースや現役世代の通院負担等を踏まえ、**活用を積極的に促進**【厚生労働省】

●花粉症対策製品など

- ・本年中を目処に、**花粉対策に資する商品に関する認証制度**をはじめ、各業界団体と連携した花粉症対策製品の**普及啓発**を実施【経済産業省】

- ・引き続き、**スギ花粉米の実用化**に向け、官民で協働した取組の推進を支援【農林水産省】

●予防行動

- ・本年中を目処に、花粉への曝露を軽減するための**花粉症予防行動**について、自治体、関係学会等と連携した**周知**を実施【環境省・厚生労働省】

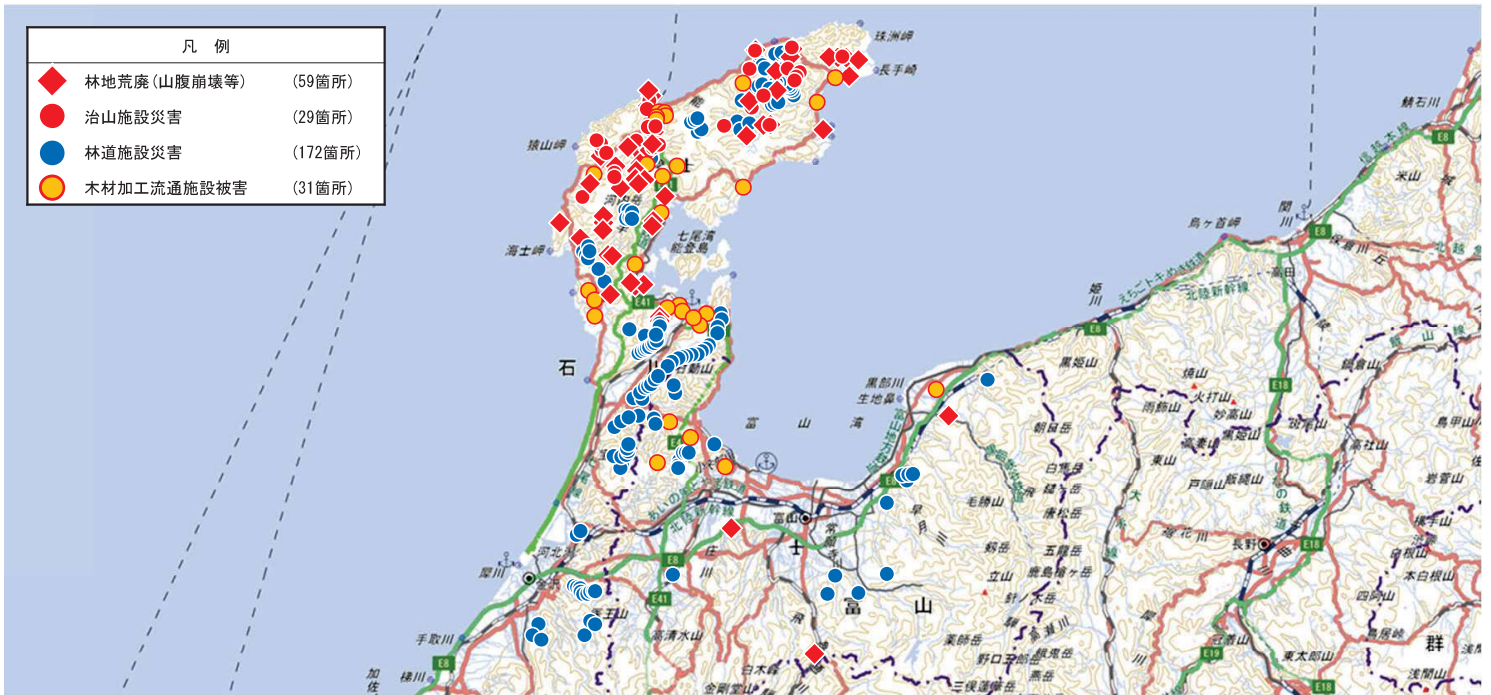
- ・「**健康経営優良法人認定制度**」の評価項目に従業員の花粉曝露対策を追加することを通じ、**企業による取組**を促進中【経済産業省】

令和6年能登半島地震への林野関係の対応状況

林野庁

林野関係の被害位置図

（令和6年2月16日現在）



1. 林野関係の被災状況

(1) 林地荒廃（山腹崩壊等）＜計59箇所＞

| 県名 | 被災市町村と箇所数 |
|-----|--------------------------------------|
| 新潟県 | 佐渡市 1 |
| 富山県 | 富山市 1、黒部市 1、射水市 1 |
| 石川県 | 七尾市 7、輪島市 27、珠洲市 9、志賀町 6、穴水町 2、能登町 4 |

(2) 治山施設災害＜計29箇所＞

| 県名 | 被災市町村と箇所数 |
|-----|--------------------------------|
| 石川県 | 七尾市 1、輪島市 17、珠洲市 7、穴水町 1、能登町 3 |

(3) 林道施設災害＜計172箇所＞

| 県名 | 被災市町村と箇所数 |
|-----|---|
| 新潟県 | 長岡市 3、佐渡市 3 |
| 富山県 | 富山市 3、高岡市 4、氷見市 8、滑川市 4、南砺市 1、上市町 1、立山町 1、朝日町 1 |
| 石川県 | 金沢市 16、七尾市 13、輪島市 17、珠洲市 12、羽咋市 3、津幡町 4、志賀町 25、宝達志水町 10、中能登町 35、能登町 8 |

(4) 木材加工流通施設被害＜計31箇所＞

| 県名 | 被災市町村と箇所数 |
|-----|-------------------------------------|
| 新潟県 | 新潟市 1、佐渡市 1 |
| 富山県 | 高岡市 2、氷見市 2、入善町 1 |
| 石川県 | 七尾市 7、輪島市 8、珠洲市 2、志賀町 3、穴水町 3、能登町 1 |

(5) 特用林産施設等被害＜計84箇所＞

| 県名 | 被災市町村と箇所数 |
|-----|---|
| 新潟県 | 新潟市 7、長岡市 4、小千谷市 1、加茂市 1、十日町市 8、糸魚川市 2、妙高市 1、上越市 4、阿賀野市 1 |
| 富山県 | 富山市 2、高岡市 1、氷見市 2、小矢部市 2 |
| 石川県 | 金沢市 3、七尾市 1、輪島市 1、珠洲市 2、白山市 1、能美市 1、志賀町 1、宝達志水町 1、穴水町 1、能登町 6 |
| 長野県 | 長野市 1、中野市 12、飯山市 16、小布施町 1 |

2. 災害復旧事業等の採択

- ・ 今回の地震により発生した林地荒廃（山腹崩壊等）のうち緊急に復旧整備が必要な石川県珠洲市2箇所及び志賀町1箇所について、1月12日に災害関連緊急治山事業を採択済。（事業費約15億円）

3. MAFF-SAT及び専門家の派遣（林野庁関係） （MAFF-SAT）

- ・ 1月2日より、各県ヘリエゾンの派遣を開始
- ・ 1月9日より、本庁・局署から石川県に治山林道技術者を派遣し、施設の復旧支援を実施。
- ・ 1月15日より、本庁・局署から石川県に「能登半島地震 山地災害緊急支援チーム」を派遣し、避難所等周辺森林や治山施設の危険度点検、山地の被害状況把握等の技術支援を実施。
- ・ 国による直轄事業に向けた現地調査を実施（1月29日から3月8日）
- ・ 2月13日までに、避難所等周辺森林や集落及び公共施設周辺の治山施設を有する337地区のうち260地区を点検し、うち27地区で山腹崩壊や治山施設被害を確認。

（専門家派遣）

- ・ 各崩壊地の将来に向けた復旧方針を確立するため、森林研究・整備機構 森林総合研究所や学識経験者等の専門家によるヘリ調査及び現地調査を実施（1月31日から2月2日）

（2月16日時点）

| 所属 | 延べ人数 | 備考 |
|-----------|--------|-----|
| 林野庁 | 120人・日 | 石川県 |
| 関東森林管理局 | 3人・日 | 新潟県 |
| 中部森林管理局 | 7人・日 | 富山県 |
| 近畿中国森林管理局 | 71人・日 | 石川県 |



石川県への技術支援状況

4. 坂本農林水産大臣・森林管理局によるヘリ調査

- ・ 1月2日及び5日に各森林管理局が県と連携し、山地災害・林道被害の発生状況を広域で把握するためのヘリ調査を実施。
- ・ 1月21日には坂本農林水産大臣によるヘリ調査を実施し、多数の大規模崩壊地を確認。



1/2 ヘリ調査で確認した被災箇所



1/21 坂本大臣によるヘリ調査



1/21 大規模崩壊地の確認

5. 被災状況の把握に向けた関係団体からの協力

| 団体名 | 内容 |
|----------------|--|
| （一社）日本林野測量協会 | 1月2日航空機により被災箇所の撮影、3日から写真を提供 |
| （一社）日本林業土木連合協会 | 被災地近隣の林業土木協会が、現地で不足している土木資材（ブルーシート、大型土嚢等）を石川県庁に運搬・提供 |
| 石川県森林土木協会 | 日本林業土木連合協会から提供されたブルーシートにより、亀裂が確認された斜面の応急対策を実施 |

6. 木炭等の支援

- (1) 林野庁から日本煉炭工業会、全国燃料協会に対して支援可能量の情報収集を依頼（1月2日）
- (2) 石川県からの要望を受け、支援に向けた調整を開始（1月4日）
- (3) 富山県に木炭約4トン、燃焼器具70台、全国で木炭・煉炭約400トン、燃焼器具約1,300台の在庫を確認（1月5日）
- (4) 木炭20トン、煉炭5トン、木炭コンロ60台、煉炭コンロ60台について、日本煉炭工業会、全国燃料協会に協力を要請し（1月7日）、富山県から木炭4トン、木炭コンロ60台分について、政府対策本部が輸送事業者を手配（1月8日）
- (5) 富山県の木炭等が石川県の物資拠点に到着（1月10日）
- (6) 煉炭5トン（福島）、煉炭コンロ60台（石川）が物資拠点に到着（1月15日）
- (7) 木炭5トン（鳥取）が物資拠点に到着（1月16日）
- (8) 残り木炭10トンについては、石川県からの状況報告を踏まえて、輸送予定を取り止め（1月23日）

7. 応急仮設住宅の建設に向けた対応状況

仮設住宅の建設に関し、国土交通省から、プレハブ建築協会、全国木造建設事業協会に協力要請（1月1日）

・仮設住宅の建設の状況（着工済総数：2,227戸）

| | | | |
|-----|----------|--------|-------------|
| 石川県 | 1/12 着工済 | (202戸) | 輪島市、珠洲市 |
| | 1/15 着工済 | (81戸) | 穴水町、能登町 |
| | 1/20 着工済 | (96戸) | 七尾市、穴水町 |
| | 1/25 着工済 | (282戸) | 七尾市、珠洲市 |
| | 1/26 着工済 | (20戸) | 志賀町 |
| | 1/30 着工済 | (387戸) | 七尾市、輪島市 |
| | 1/31 着工済 | (180戸) | 輪島市、内灘町、能登町 |
| | 2/ 1 着工済 | (88戸) | 内灘町、志賀町 |
| | 2/ 3 着工済 | (153戸) | 珠洲市 |
| | 2/ 5 着工済 | (102戸) | 輪島市 |
| | 2/ 8 着工済 | (565戸) | 輪島市、穴水町、能登町 |
| | 2/13 着工済 | (71戸) | 輪島市、穴水町 |

- (1) 仮設住宅の建設に不可欠な基礎用杭丸太や住宅用木材を円滑に供給できるよう、林野庁から、全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会、日本木材防腐工業組合、全国森林組合連合会に対して協力要請（1月2日）
- (2) 全国木材組合連合会が災害対策本部を設置（1月4日）
- (3) 日本木材防腐工業組合からプレハブ建築協会等に対し、杭丸太の提供可能量（20～22万本）について情報連絡（1月10日）

※仮設住宅建設に1戸あたり約50本必要

8. 被災木の受入可能施設の情報提供

- (1) 林野庁窓口へ被災木の受入を行いたい旨の連絡のあった合板事業者（新潟県）の情報を被災県（新潟県、富山県、石川県）に周知（1月17日）
- (2) 石川県の要望を受け、近隣5県（新潟県、富山県、福井県、長野県、岐

岐阜)に所在する被災木受入可能施設(加工・利用する施設)の情報を提供(1月18日)

〔・林野庁では2年ごとに、被災木の有効活用に向けて、被災木の受入が可能な施設の情報(名称、所在地、受入可能な材の条件等)を調査・公表〕

林野関係被害の発生状況

【林地荒廃（山腹崩壊等）】



多数の山腹崩壊地（輪島市・珠洲市）



大規模な山腹崩壊地（輪島市・珠洲市）



学校の裏山崩壊（珠洲市）

【林道施設災害】



山腹崩壊による林道の崩落（珠洲市）

【木材加工流通施設の被害状況】



木材保管庫の倒壊（七尾市）

【特用林産施設等の被害状況】



きのこ菌床の落下（穴水町）